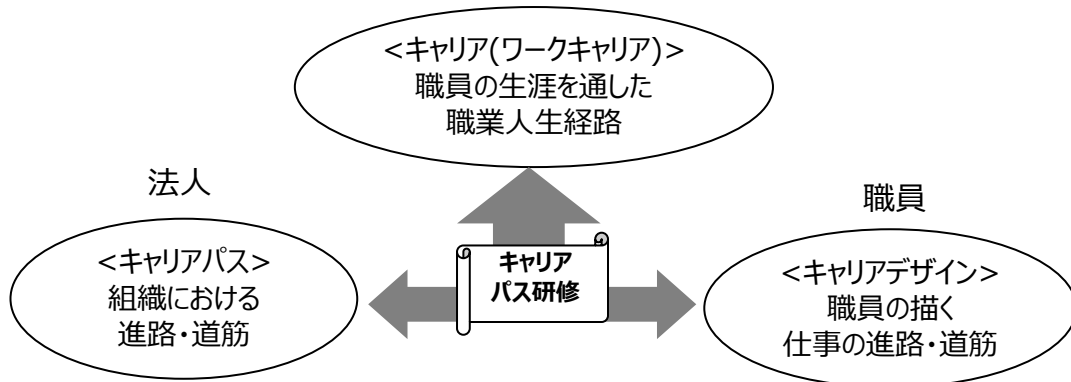


求められる職場づくりの第一歩！

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

1 キャリアパスとは

キャリアパス(carrier path)とは、法人組織における仕事の経験を通して、職員を育成する仕組み(システム)のことです。キャリアデザインは、職員自身が描く仕事の進路や道筋のことです。



2 「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」の目的・イメージ

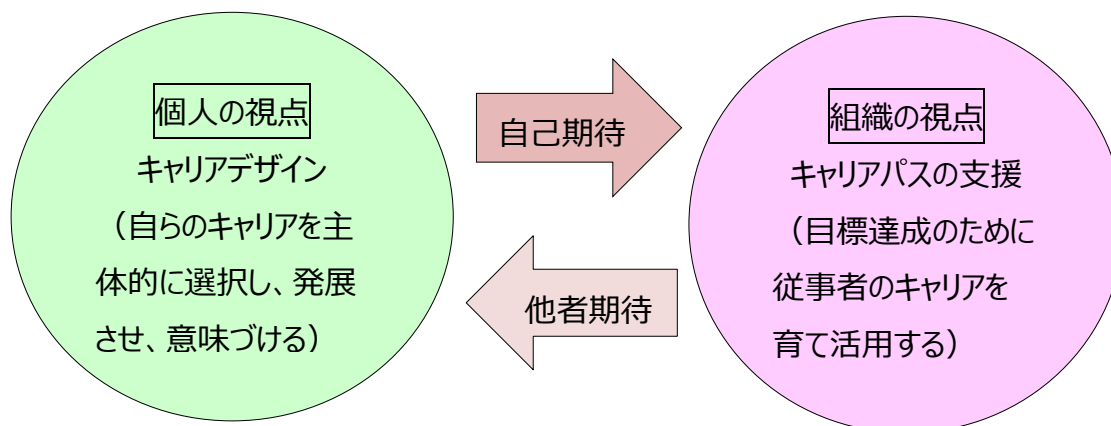
この研修で受講生は階層毎に必要なとされる能力の開発と自身のキャリアアップの道筋を明確にします。職員一人一人が描いたキャリアビジョンをもとに業務を通じて能力を発揮しやりがいをもって働くこと、また、その実現に向けて施設事業所内での職員育成施策を構築することでより良い質の高いサービスの提供ができ、利用者の方々の笑顔や地域の信頼につながります。

階層	研修の目標
<管理職員> マネジメントリーダー マネージャー 例：管理者・課長	<ul style="list-style-type: none"> 法人や事業所経営の視点から職員の業務能力向上や利用者の生活環境の改善を行うこと。 組織としての課題を把握し、目標が達成できる組織体制を整備すること。 人材育成の環境整備をすること。 法人や事業所として、多職種連携のもと地域福祉の推進をすること。 など
<チームリーダー> リーダー 例：係長	<ul style="list-style-type: none"> チームの目標達成と問題解決に向けた力を高めること。 職場研修を基本とした OJT を推進していくこと。 リスクマネジメントの仕組みを具体的に構築していくこと。 など
<中堅職員> スタッフ 例：職員	<ul style="list-style-type: none"> 自身の役割を理解し担当業務を遂行すること。 期待される職員像に向け、自己研鑽し、専門性を高めていくこと。 業務上の課題の分析、解決をし、後輩職員をリードしていくこと。 など
<初任者> スタッフ 例：職員(新任)	<ul style="list-style-type: none"> 組織の一員として、メンバーシップを身に付けること。 職員や利用者との信頼関係強化のためのコミュニケーション技法を会得すること。 社会人としてのマナーやルールの理解と順守をしていくこと。 など

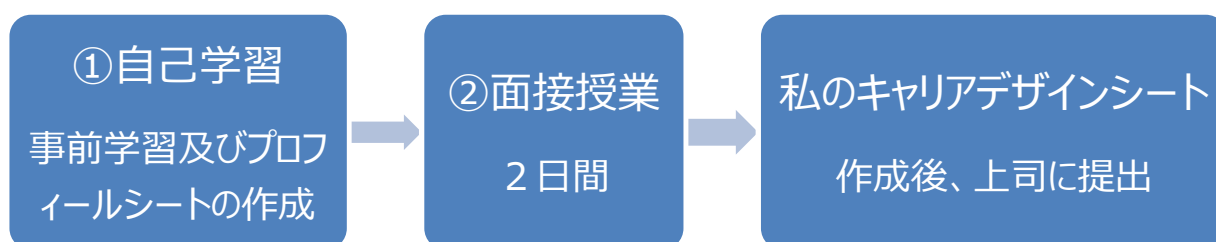
3 「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」の特徴

この研修は、職員の描くキャリアデザイン(個人の視点)と職場が整備するキャリアパス(組織の視点)を支援し、相互理解を促すところに特徴があります。

職員としては職場の中で自身のキャリアデザインの実現を図ることができ、事業所・法人としては職員が積極的に職務に取組み、利用者や組織が求める期待を実現し、成果に貢献していくことができます。



4 研修プログラム



自己学習をした上で、2日間の面接授業に参加します。面接授業では、講義と演習を通して、受講者1人ひとりが自ら歩んできたキャリアを振り返ります。そして、研修の最後に「私のキャリアデザインシート」を作成することで受講者自身のキャリアビジョンの見える化をします。

また、「事前学習及びプロフィールシート」と「私のキャリアデザインシート」では、直属の上司から受講者本人への期待やアドバイスなどをコメントいただく仕組みになっており、上司からのフォローアップを受けながら学ぶことでキャリアデザインを実現していくことができます。

5 受講者の声(キャリアデザインシートより)

PDCA サイクルを徹底し、明確な目標設定と達成度合いの評価が不可欠で、業務標準を改善してよりよい組織を作っていきます。(管理職員課程)

他職種の方達と意見を交わし、様々な視点・考え方を学ぶことができ、自分自身の視野や考え方を広げる大切さに気づけました。(中堅職員課程)

個やチーム全体のレベルに応じた育成計画を立て、継続的なOJTを心掛けていきます。(チームリーダー課程)

自己啓発することで専門職としてのスキルを上げ、将来のキャリアビジョンを明確にして仕事への向上心を高めていきます。(初任者課程)

〇お問合せ先
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 福祉人材センター
電話 052-212-5516 FAX 052-212-5518